静岡新聞
令和4年(2022年)9月22日(木曜日)

三島駅南口再開発巡る県要望

「適切に対応」市が答弁

一般質問

三島市議会9月定例会は21日、一般質問を行った。市は三島駅南口東街区に広域健康医療拠点や高層マンションなどを建設する再開発事業で、5月に組合設立を認可した県が市などに要望した5分野16項目の調査、対策について「知事から助言をいただいたと認識している。適宜適切に検証しながら対応する」と述べた。河野月江氏(共産)への答弁。

県は事業による地下水・環境保全、地盤、市民との合意形成・情報公開―など5分野16項目について、市民や専門家の懸念、不安を払拭(ふっしょく)するよう市や組合に必要な調査と対策を求めている。市は答弁で、これまでも地下水や環境保全、地盤などについては継続的な調査と周知を行ってきたとし、今後も実施設計を進める事業関係者と連携しながら対応する方針を示した。

このほか三島、長泉の市町境から同市に向けて新設される都市計画道路谷田幸原線と、同線に交差して青木橋付近まで延伸する三島駅北口線について「本年度末までに同時開通する見込み」と説明。谷田幸原線に設ける3カ所の信号機も合わせて運用を開始する見通しを明らかにした。藤江康儀氏(改革みしま)に答えた。

同日は甲斐幸博(緑水会)、村田耕一(公明)の両氏も登壇した。(三島支局・金野真仁)